

- 意見発表 <図書館の部>
郷土資料の活用と生涯学習
会津若松市立会津図書館技能主査
芳賀 幸雄

- <公民館図書室の部>
三春町における生涯学習と図書館の役割
三春町教育委員会教育長 武藤 義男

- <利用者の部>
子供の読書振興と実践について
二本松市児童図書研究グループ代表
斉藤千江子

- 分科会 <図書館の部>
資料の活用と生涯学習
司会者 双葉町図書館長 井戸川鉄弥
助言者 会津若松市立会津図書館技能主査
芳賀 幸雄

- <公民館図書室の部>
生涯学習と図書館（公民館図書室）の役割
司会者 県教育庁社会教育課主任社会教育主事
七島 征

- 助言者 三春町教育委員会教育長 武藤 義男
- <利用者の部>
子供の読書振興と実践について
司会者 県北教育事務所社会教育主事
高橋 健二
助言者 二本松市児童図書研究グループ代表
斉藤千江子

- 全体討議
議長 須賀川市立図書館長 渥見 和夫

(2) 平成元年度北日本図書館連盟奉仕部門（一般）研究協議会

- テーマ 県（道）図書館のネットワークづくりについて
- 期 日 平成元年10月5日～6日
- 会 場 福島県立図書館
- 参加者 北日本地区公共図書館・公民館職員、その他関係職員 92名
- 講演 県（道）図書館のネットワークづくりについて

- 滋賀県立図書館長 前川 恒雄
- 事例発表 青森県の図書館ネットワーク
青森県立図書館司書 斎藤 初美
仙台市図書館整備基本計画について
仙台市民図書館副館長 武田 靖
郡山市図書館の相互貸借について
郡山市図書館主査 佐久間典子

- 研究協議
司会者 郡山市教育委員会社会教育課主幹
佐藤 晃二
助言者 滋賀県立図書館長 前川 恒雄

(3) 読書活動指導者養成講座

- テーマ 子どもと本の出会い

- 期 日 平成元年11月21日
- 会 場 福島県立図書館
- 参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、文庫世話人、一般 200名
- 講師 調布市立図書館司書 黒沢 克明

(4) 子どもの本研究講習会

- 演 題 土と草と風の絵本
- 期 日 平成元年7月15日
- 会 場 福島県立図書館
- 参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、文庫世話人、一般 280名
- 講師 絵本作家 田島 征三

(5) 新館オープン5周年記念

第1回ふるさとふくしま講演会

- 演 題 ふくしまのむかし話
- 期 日 平成元年6月25日
- 会 場 福島県立図書館
- 参加者 一般 350名
- 講師 声優 森 和美

第2回ふるさとふくしま講演会

- 演 題 ふくしまのむかし話
- 期 日 平成元年11月5日
- 会 場 福島県立図書館
- 参加者 一般 100名
- 講師 おはなしおばさん 横山 幸子

6 広報資料の発行

(1) 館報「あづま」

第40巻第1～3号（通巻227～229号）を発行し、市町村教育委員会、図書館、公民館等に配付した。

発行部数 1,500部

(2) 平成元年度版福島県公共図書館・公民館図書室実態調査

県内公共図書館・公民館図書室の実態を把握し、図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から毎年実施し、報告書にまとめ、県内市町村教育委員会、図書館、公民館等に配付した。

発行部数 450部

平成元年度4月1日現在の調査結果の主要な点をあげると、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は、2,449,815冊で、県民1人当たり1.17冊（前年度1.10冊）年間増加図書冊数は、195,867冊である。

また、昭和63年度中の貸出図書冊数は、3,383,134冊（県民1人当たり1.61冊）であり、前年度と比べると総冊数では39,297冊増である。

(3) 福島県郷土資料情報

新着郷土資料の情報として、第10～12号を発行し、県内図書館、公民館等に配付した。

発行部数 300部